


令和5年12月27日
竜王町定例記者会見
農業振興課



竜王町バイオマス産業都市構想 ～取組みの概要と進捗状況～

BIOMASS
INDUSTRIAL
CITY

竜王町バイオマス産業都市構想 ～取組みの概要と進捗状況～

1. 竜王町バイオマス産業都市構想のコンセプト
2. 4つのプロジェクトの進捗状況
3. トピックス
 - ①PR動画を公開（実施主体：竜王町）
 - ②COP28*ジャパンパビリオン**で取り組みを紹介
（実施主体：ダイハツ工業株式会社様）

*COP28：国連気候変動枠組条約第28回締約国会議（開催：R5.11.30－12.13 アラブ首長国連邦（UAE）・ドバイ）

**COP28ジャパン・パビリオン：日本が誇る脱炭素・適応に貢献する技術・取組を発信（国、環境省）

竜王町バイオマス産業都市構想の背景とコンセプト



活気ある農業、工業、商業の町

・人口 約1.1万人 (昼間 5千人多)

農業) 産出額 約30億円(R1)、毎年微増

工業) 出荷額 約7,300億円(R1)、自動車製造業

商業) 大型商業施設(三井アウトレット様：来場者700万人/年)



近江牛発祥の地



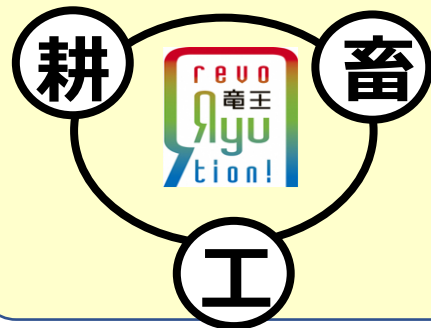
近江米の産地
水田面積：町の30%



ダイハツ工業様の主力工場



竜王スキヤキ
プロジェクト



竜王町ならではの耕・畜・工連携による
バイオマス資源循環

地域がこれからも元気であるために
地域の活性化、生産品の差別化、農耕連携に工業が参画
地域連携(人、エネルギーの交流)

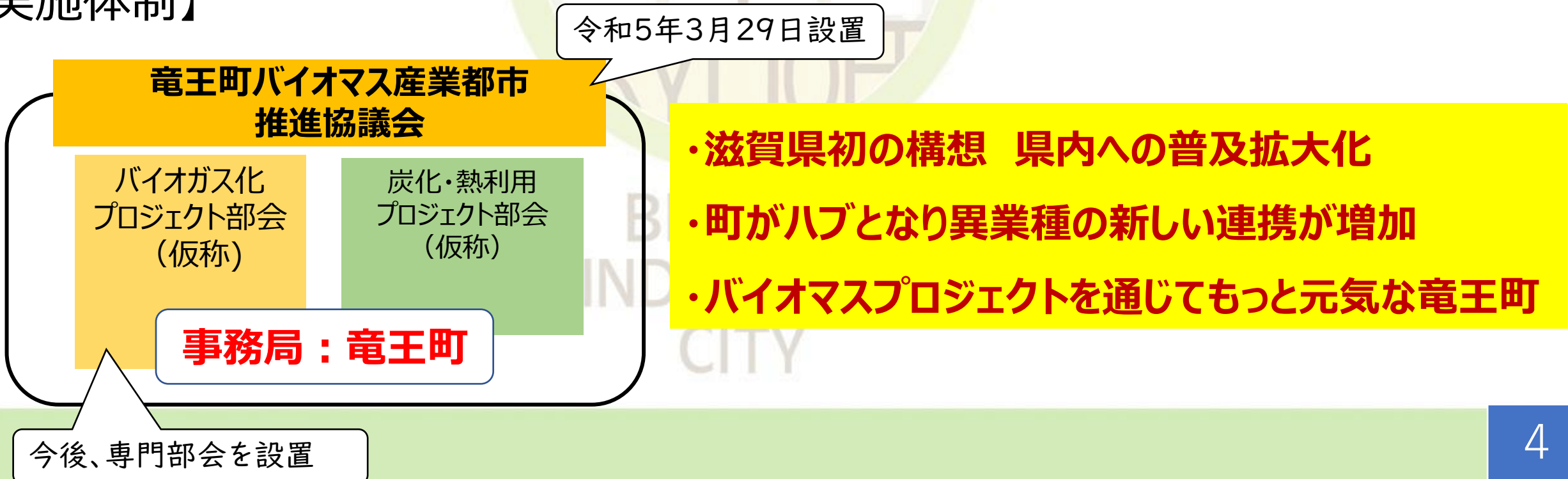
竜王の豊かな資源(食材、人材)が入った鍋を
囲む人の笑顔と輪をイメージ

地域波及効果・実施体制

【地域波及効果】

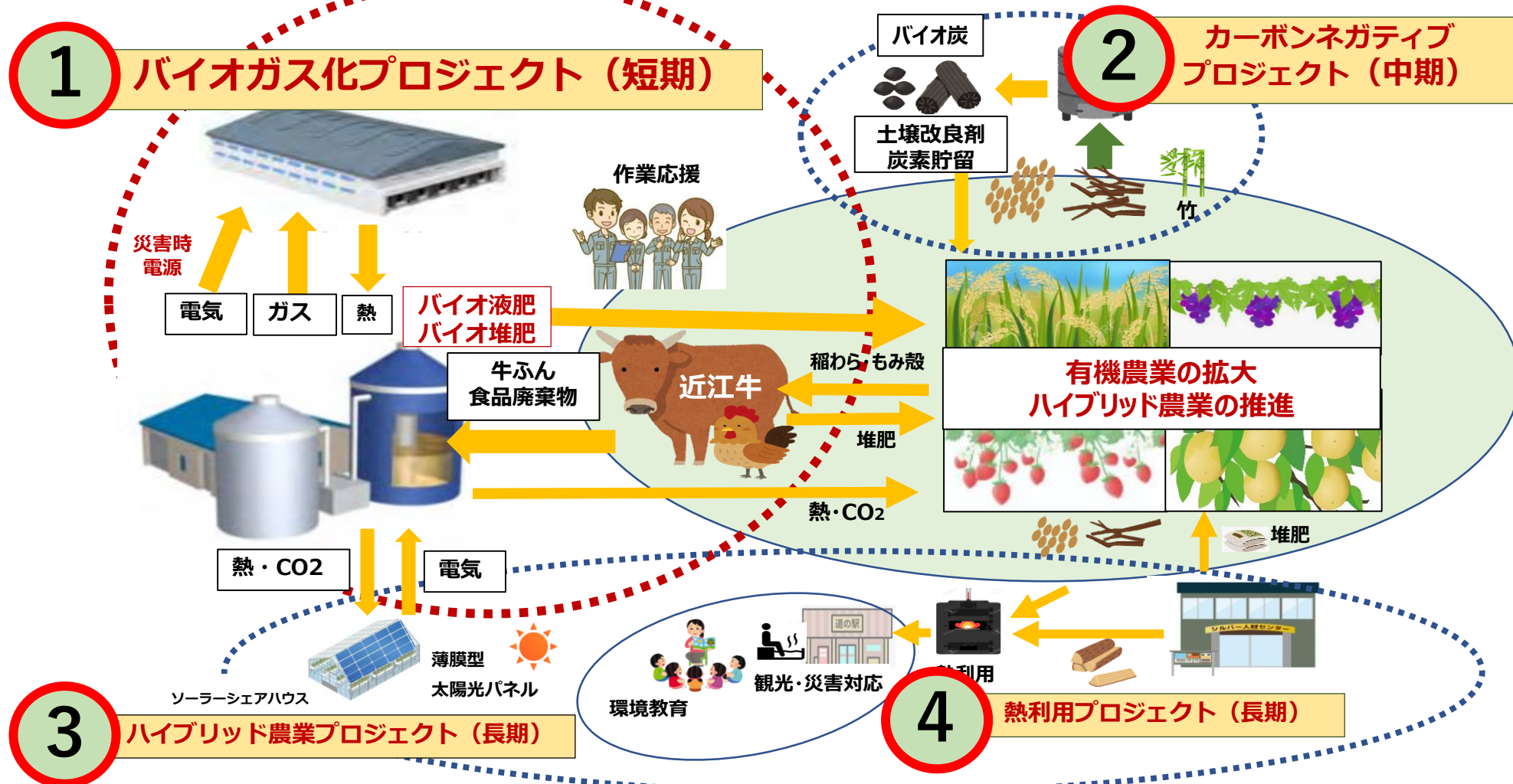
生産誘発額 (直接効果)	雇用誘発数	バイオガスプロジェクト		カーボンネガティブプロジェクト
		熱生産	廃棄物利用量	バイオ炭施肥によるCO2固定量
24.3 億円	31人	4,997,164 (kWh/年)	家畜排せつ物 6,600 (t/年)	102 (t-CO2/年)

【実施体制】



竜王町バイオマス産業都市構想 事業化プロジェクト

竜王町 ④ 耕・畜・工連携によるバイオマス資源循環



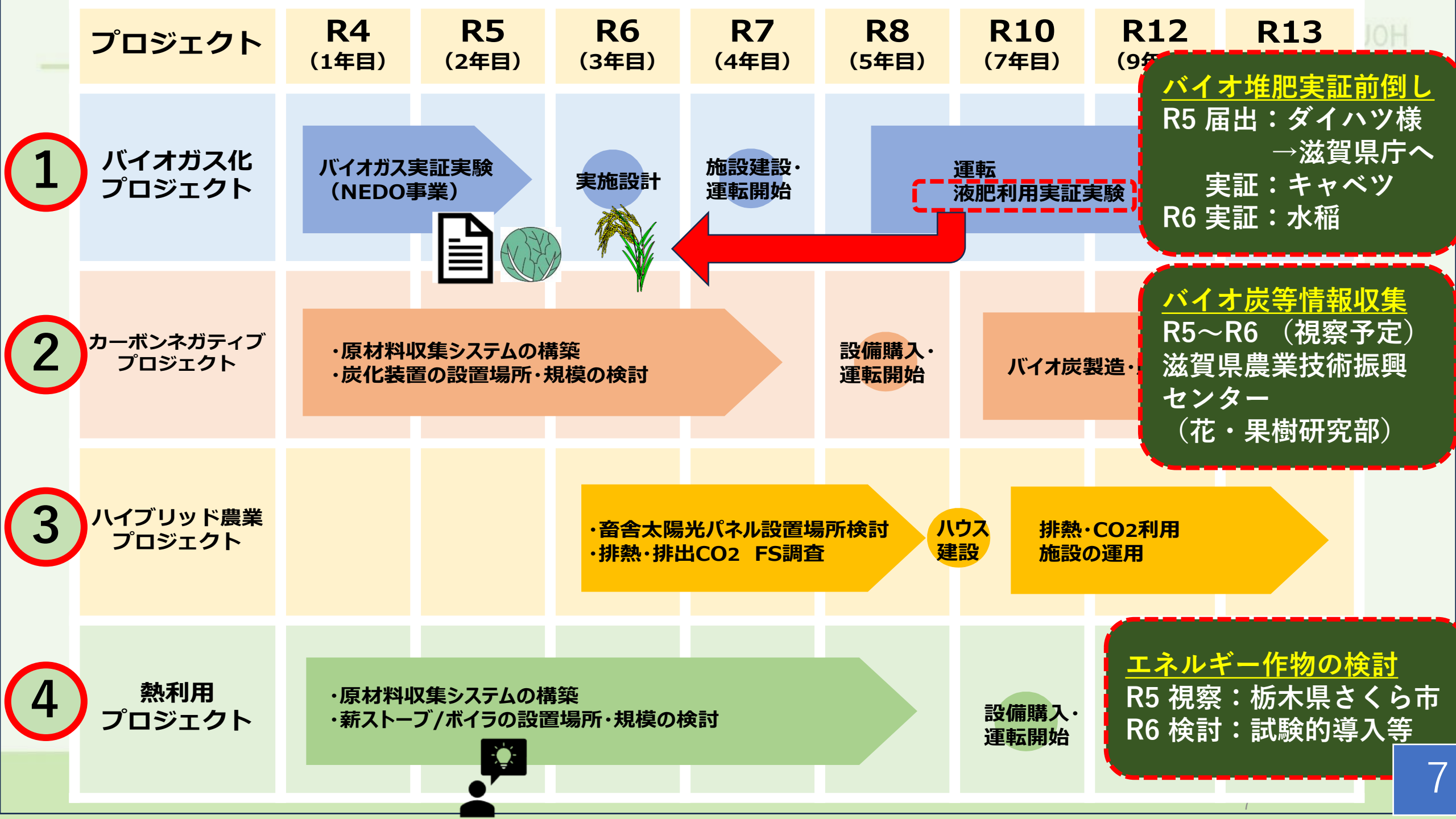
資源の地域内循環、エネルギーの地産地消
環境にやさしい竜王町生産品（農産品・畜産品・工業製品）のブランド力向上

竜王町バイオマス産業都市構想 ～取組みの概要と進捗状況～

1. 竜王町バイオマス産業都市構想のコンセプト
2. 4つのプロジェクトの進捗状況
3. トピックス
 - ①PR動画を公開（実施主体：竜王町）
 - ②COP28*ジャパンパビリオン**で取り組みを紹介
（実施主体：ダイハツ工業株式会社様）

*COP28：国連気候変動枠組条約第28回締約国会議（開催：R5.11.30－12.13 アラブ首長国連邦（UAE）・ドバイ）

**COP28ジャパン・パビリオン：日本が誇る脱炭素・適応に貢献する技術・取組を発信（国、環境省）



竜王町バイオマス産業都市構想

MASS INDUSTRIAL CITY RYUOH

～取組みの概要と進捗状況～

1. 竜王町バイオマス産業都市構想のコンセプト
2. 4つのプロジェクトの進捗状況
3. トピックス

①PR動画を公開（実施主体：竜王町）

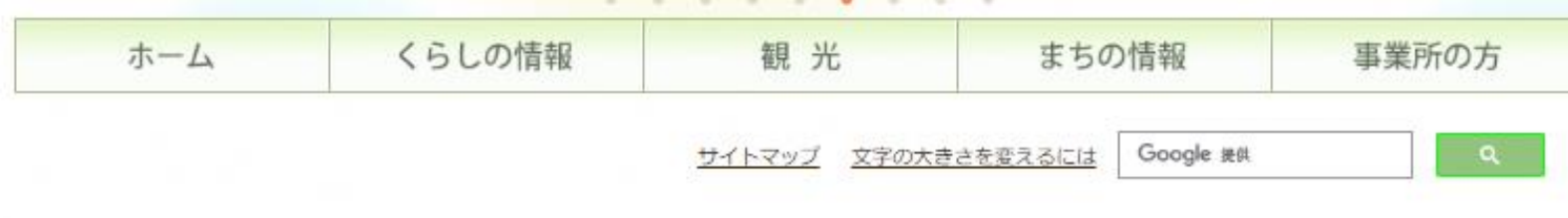
②COP28*ジャパンパビリオン**で取り組みを紹介
（実施主体：ダイハツ工業株式会社様）

*COP28：国連気候変動枠組条約第28回締約国会議（開催：R5.11.30－12.13 アラブ首長国連邦（UAE）・ドバイ）

**COP28ジャパン・パビリオン：日本が誇る脱炭素・適応に貢献する技術・取組を発信（国、環境省）

①PR動画を公開

実施主体：竜王町



[トップページ](#) > [新着情報](#) > 竜王町バイオマス産業都市構想のPR動画(YouTube)ができました

竜王町バイオマス産業都市構想 PR動画 ができました!

竜王町では、家畜排せつ物や木質バイオマスなど、町内に存在する多様なバイオマスを農業(耕種)、畜産業、工業が連携し活用し「耕・畜・工連携によるバイオマス資源循環」をめざすため、「竜王町バイオマス産業都市構想」を策定しました。このたび、この取組をより多くの方に知っていただくため、PR動画を作成しました！ぜひご視聴ください！



日本語版(約5分)

②COP28ジャパンパビリオンで取り組みを紹介

実施主体：
ダイハツ工業株式会社様

地域連携による地産地消の脱炭素エネルギー創出 農業・畜産・工業で 現代版三方よし

Decarbonization by Local SDGs
San Pou Yoshi = Win-Win for All

地域連携による地産地消の脱炭素エネルギー創出 農業・畜産・工業で 現代版三方よし

Nature-based Solutionを用いた資源とエネルギーの経済循環の実現を地方の町で目指す。工業の脱炭素推進がトリガーとなり、地域の産業が“Together for Action”を開始した。バイオマス資源を地域で循環し、地域の困り事(有機農業、糞処理、熱源の脱炭素化)の解決を目指す。

- ・自動車工業が、近江牛糞からバイオガスと堆肥を製造。バイオガスは工場で燃焼し、熱源に活用(電化では、エネルギー効率が低い高温用)
- ・発酵残渣は、堆肥に加工、近隣の主要産業である近江米の有機農業化に活用。
- ・近江米の稲わらは、近江牛の餌に循環活用。
- ・持続可能な資源循環は、地域課題のNature-based Solution(Nbs)な解決につながる。
- ・地域行政、耕種農家、畜産農家、自動車工業のコラボレーションは、SDG No. 17の取り組みである。
- ・地域循環共生圏=三方よしの考えは、世界のどこでも展開できる。

Decarbonization by Local SDGs San Pou Yoshi = Win-Win for All

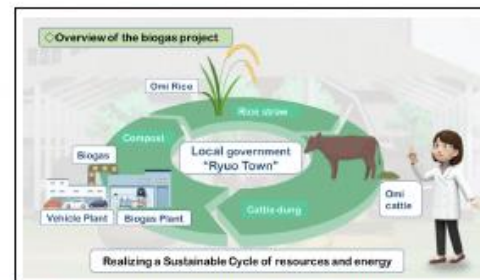
The decarbonization in the industrial sector triggered "Together for Action". The local main industries, crops and livestock farmers, and the automobile industry, each have their own challenges: organic farming of Omi Rice, waste management of Omi cattle dung, and decarbonization of high-temperature heating.

The automobile industry processes Omi cattle dung into biogas and compost, and the gas is burned in a furnace.

Crops farmers use the compost to produce organic Omi Rice.

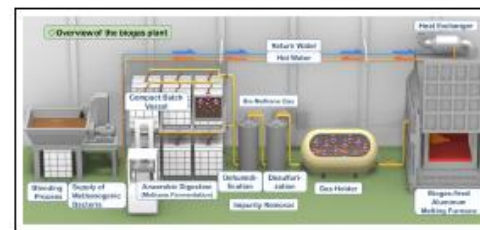
Livestock farmers use the Omi Rice straw to feed Omi cattle.

This sustainable cycle of resources creates a Nature-based solution to each of challenges. Collaboration between local government and local industries helps to achieve SDG No. 17. Local SDGs, "San Pou Yoshi" is a principle that can be applied globally.



Nature-based Solutionを用いた資源とエネルギーの経済循環の実現を地方の町で目指す。このような取り組みは世界のどこでも展開できる。

We tackle to creating a sustainable cycle of resources and energy in local towns based on Nature-based Solutions. This approach can be applied anywhere in the world as a local SDGs.



低い水分率で発酵できるメタン発酵プロセスと、自動車製造のノウハウでシリンダをシムしたプラントの開発に成功している。

We developed low-moisture methana fermentation process and plant which is simplified with automotive manufacturing know-how.

繋がりと未来をつくる
耕・畜・工連携によるバイオマス資源循環
Creating partnerships and a greener future.
Circulation of biomass resources.



ありがとうございました



BIOMASS
INDUSTRIAL
CITY